

令和4年第1回議会定例会における行政概要報告書

(令和3年11月20日から令和4年2月18日まで)

1 市新年賀詞交歓会について

1月14日、市中央公民館において、市長、市議会議長、市商工会長及び常陸農業協同組合代表理事組合長が発起人となり「市新年賀詞交歓会」を2年ぶりに開催し、113人が参加されました。

コロナ禍の現状を考慮し、参加者には、検温やワクチン接種証明等の提示にご協力をいただくとともに、歓談の時間を省略するなど感染症対策を第一に新しい開催方法で実施しました。

2 いい那珂マルシェ in イバラキセンスについて

2月5日、東京都中央区銀座にある「イバラキセンス」で「いい那珂マルシェ in イバラキセンス」を開催しました。今回は那珂市産のかぼちゃをテーマに、かぼちゃの生パスタ、かぼちゃのシフォンケーキ、かぼちゃのフィナンシェのほか、店内カフェにてかぼちゃのラテを販売するなど、かぼちゃ商品を中心に展開しました。併せて、那珂市特産品ブランド認証品の高級干し芋「EPISODE XⅢ」や「ひまわりオイル」、水戸農業高校の生徒が考案した「いちごのパスタ」、那珂市産の野菜を詰め込んだ小箱「フェルミエBOX」なども販売しました。店内ではつるしびなの展示のほか、動画で市長のトップセールス、「フェルミエ那珂」による生産現場からの产品介绍を放映し、市のPRと販売の促進を図りました。

3 いい那珂暮らし移住・農業体験ツアーについて

移住専門雑誌『TURNS』とのコラボレーション企画として、首都圏在住のかたを対象に、那珂市での暮らしや生の農業にふれることができる1泊2日の移住・農業体験ツアーを2週にわたり実施しました。1週目の11月20日～21日は2組（2人）、2週目の27日～28日は2組（3人）の移住・就農希望者がツアーに参加し、「フェルミエ那珂」の協力のもと、ほ場での農業体験や農家さんとの交流会を行うとともに、那珂市での暮らしを具体的にイメージできるよう、市内不動産事業所での住まい相談や住宅見学等の移住体験会を実施しました。

4 企業取材インターンシップ報告会について

移住・定住に対する取組促進及び若者のU I Jターンの意識向上を目的とした「那珂市企業取材インターンシップ」のオンライン報告会を12月20日に行いました。この取組は、学生が記者として市内企業への取材を通して地域企業の魅力を発信し、那珂市に関心を持ってくれる若者を増やすための取組であり、報告会では、市長へのインタビューをはじめ、事業に賛同し取材に協力いただいた市内企業の方々との意見交換が行われ、「働く」ことに不安を抱えている学生たちの生の声や取材を通じた那珂市の感想などを聴くことができ、市の魅力の再発見につながるのと同時に、就職先を考える力を養う機会となりました。完成した取材冊子については、成人式や大学等に配布し、県内外の若者に対するPRに活かしてまいります。

5 上菅谷駅北側市有地について

売却を予定している上菅谷駅北側市有地の汚染土壌の除去が11月30日に完了し、茨城県に対して12月6日付けで土壤汚染対策法第11条第2項の規定により形質変更時要届出区域の解除申請をしました。

茨城県報で形質変更時要届出区域の指定が解除され次第、売買契約を締結し、所有権移転の手続きを進めてまいります。

6 多文化共生セミナーについて

12月11日、多文化共生セミナー「シリア編」を開催しました。今回のセミナーは、新型コロナウイルス感染症対策により、web会議システム「Zoom」でのオンライン開催となりました。講師は、シリア出身のムハンマド・ナジブ・アルヘブラウィさんで、内戦で非常に困難な状況にあるシリアについて、普段のニュースでは伝えられない内容まで詳しくお話いただきました。参加者からは、「シリアの悲惨な現状を知ることができた。」「シリアのかたの生の声を聴き身につまされた。」などのご意見をいただきました。

7 いばらきダイバーシティ宣言について

茨城県では、年齢や性別、国籍や障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会を実現することを目的に「いばらきダイバーシティ宣言」を発表しました。

この県の趣旨に賛同し、当市としましても12月22日に、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現を目指すため、「ダイバーシティを意識したまちづくりの推進」「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境整備」「市民への意識啓発及び人材の発掘・育成」の3つの取組を掲げた「いばらきダイバーシティ宣言」を行いました。この宣言内容については、茨城県のダイバーシティ推進センター「ぼらりす」ホームページに掲載されているほか、当市のホームページにも掲載しております。

8 那珂市原子力防災訓練の実施について

11月23日、本市単独では初めてとなる原子力防災訓練を市民及び関係機関の参加により実施しました。

当日は、コロナ禍において大規模な地震が発生し、東海第二発電所が全面緊急事態に至るという想定のもと、災害対策本部運営訓練、住民情報伝達訓練、本米崎地区住民の住民避難訓練、本米崎地区を除く市内全域の屋内退避訓練、避難行動要支援者搬送訓練を感染症対策を行いながら実施しました。

今回の訓練の成果をもとに、現在策定を進めている那珂市広域避難計画の検証を行い、計画の実効性の向上を図ってまいります。

9 曲がり屋ライトアップについて

11月26日、27日の2日間にわたり曲がり屋において、「曲がり屋ライトアップ」を開催し、約350人の方が訪れました。

10 あおぞらクローゼットについて

12月11日、静峰ふるさと公園において、那珂市地域おこし協力隊主催による「あおぞらクローゼット」が開催され、約160人の方が来園し、事前に回収した衣服約1,000着の配布が行われました。

11 ふたご座流星群観察会について

12月14日、静峰ふるさと公園において、「ふたご座流星群観察会」を開催し、4組（12名）の方が参加しました。

12 イルミネーション及び雪まつりについて

12月18日から1月10日までの期間、静峰ふるさと公園において、「イルミネーション」及び「リアル宝探し」を実施しました。併せて、1月9日、10日の2日間にわたり、横手市の製作による“かまくら”を展示した「雪まつり」を同時に開催し、延べ13,000人の方が訪れました。

13 餅つき大会について

1月22日、静峰ふるさと公園において、那珂市地域おこし協力隊主催による「餅つき大会」が開催され、約60人の親子連れが参加しました。

14 水戸那珂緊急時相互連絡管の整備完了について

11月24日に水戸那珂緊急時相互連絡管布設工事が完了しました。これにより水戸市と那珂市の相互連携による緊急時応援給水体制の構築が実現し、災害時等における両市間での水道水の融通、資機材等の貸し借りによる調達及び人材派遣による応援等の実施が可能となりました。

15 ナカマロちゃん給食の提供について

市内産の新鮮な野菜を使った特別給食「ナカマロちゃん給食」を小学校は11月22日、中学校は11月24日と2月15日に提供しました。ネギ、ニラ、小松菜などの地場産品をとおして旬の食材を知り、地域の自然や文化、産業などに関する理解を深めました。

16 食物アレルギーに伴う学校給食費の減額について

学校給食において、食物アレルギーがあるため喫食できない食材について、給食費の減額を行うこととしました。減額の対象は牛乳及び主食（ご飯・麺・パン）の2種類で、減額する金額（月額）は、牛乳が小中学校ともに900円、主食は小学校が1,100円、中学校が1,300円です。令和4年4月から実施します。

17 かわまち施設現地見学会について

11月23日、戸多地区にしの那珂川河川敷において、かわまちづくり支援制度活用施設「那珂西リバーサイドパーク」の現地見学会を開催しました。

当日は、地域の方や市内サッカースポーツ少年団などに参加をいただき、施設の説

明や事業に関するパネル展示、グラウンドでのキックターゲット体験などを実施しました。

18 白鳥学園学校運営協議会（コミュニティ・スクール）SDGs講演会について

12月10日、白鳥学園学校運営協議会（コミュニティ・スクール）によるSDGs講演会「はじめてのLGBTQ」をオンラインで開催しました。

那珂市出身の秋田市立秋田総合病院医師の高橋^{たかはし}まや先生と、同病院臨床発達心理士の成田^{なりた}まい先生を講師に迎えて、ジェンダー平等についてお話しいただきました。

19 「家庭の日」図画・作文発表並びに表彰式典について

12月11日、総合センターらぽーるにおいて、「家庭の日」図画・作文発表並びに表彰式典を開催しました。

市内小中学校から図画601点、作文793点の応募があり、当日は金賞受賞者の代表による発表並びに入賞者の表彰を行いました。

青少年育成那珂市民会議は、茨城県青少年育成協会で行っている絵画コンクールに作文の部も取り入れ、作品展示・作文発表会・表彰式典を実施しています。

20 正月飾り展について

1月5日から10日まで、歴史民俗資料館において、季節展「正月飾り展」を開催しました。

市民から寄贈された羽子板や破魔弓を展示したほか、市内で活動する手芸グループによる今年の干支にちなんだ置物や、古い着物で作ったタペストリーなど、色とりどりで華やかな展示になり、多くの見学者が訪れました。

21 成人式について

1月8日、那珂総合公園アリーナにおいて成人式を開催し、新成人の門出を祝福しました。

新型コロナウイルス感染症対策として、中学校区ごとに出席者を分け2部制にしたほか、抗原検査キットを式典参加者全員に事前配布し、参加者の陰性を確認したうえで式典を執り行いました。

新成人対象者559人のうち392人が参加し、出席率は70.13%となりました。

22 額田城跡保存管理計画（第2期）の改訂について

額田城跡については、額田城跡保存管理計画（第2期）において、平成29年度から令和3年度までに本丸跡地の公有化を図り、試掘調査を行うこととしていたところ

です。本丸跡地の公有化が令和3年度で完了する見込みであることから、試掘調査等の学術調査を今後実施するにあたり、計画期間を5年間延長し、令和8年度までとするものです。

23 那珂総合公園のネーミングライツ契約締結式について

2月17日、株式会社茨城放送（L u c k y F M茨城放送）とネーミングライツ契約締結式を執り行いました。この契約締結により、4月1日から那珂総合公園の愛称が「なかL u c k y F M公園」となります。

24 消防業務について

消防訓練指導については、事業所や学校等を対象として18回行い、1196人が参加し、防火防災知識の習得と防火意識の向上を図りました。

また、応急手当普及のため救命講習会等を9回行い、260人が修了しました。

火災出場件数については9件、救急出場件数については612件となっています。

1月9日、那珂総合公園において消防出初式を行い、消防関係者440人が参加し地域防災への新たな決意をしました。

令和4年3月1日

那珂市長 **先崎 光**